

【下川淵の1コマ】

地区を代表する景観構成要素



変わらない(ベースとなる)色彩を抽出



変わらない(ベースとなる)色彩を抽出



ふるさと自慢〔住む人の声〕

歴史

単なる歴史資産ではなく、古墳や神社、七観音など、地域色が顕著である。

風の軸

田園を渡る季節風

古道

諏訪神社参道

樹木

下川淵小学校の大ケヤキ
極楽寺の大ケヤキ

音風景

心に残る音、原風景を形成する音
(定形医院のピアノの音)

赤城山遠望軸

田園風景越しに見る赤城山

拓く

北関東自動車道
横手大橋

地区の課題

景観にかかる課題1

平坦で広がりがあり、肥沃な土地に恵まれ、本市を代表する優良な田園地帯の中に農村集落が点在する田園風景の地区である。一部に開発などにより田園・屋敷林などの緑の減少とともに、水田地帯にばかり浮かぶ独特の農村集落の眺めの喪失が進んでいる。

景観にかかる課題2

北関東自動車道の開通により、まちの性質、風景が変化してきており、新たな開発行為を視野に入れた、適切な規制と開発誘導による景観形成が望まれる。

景観形成重点地区候補地

観光路町 善光寺周辺地区（前橋玉村線沿線）

景観形成のテーマ / 山稜への眺望を大切に

目標 / 水田が広がり、赤城山への眺望が得られる田園において、眺望を阻害しないよう、建物や広告等の形態、大きさに配慮する。

出典 / 前橋市景観形成モデル地区指定指針（平成 11 年 3 月）



体感・体験図〔住む人の目〕

地区の方針

景観形成方針 1

広がりのある田園風景、水田地帯にばかり浮かぶ独特の農村集落の眺めを守る。また農村集落の中にある寺社や屋敷林など、農村集落にまとまりを与えている要素を一体的に守る。

景観形成方針 2

工業団地は建物デザインへの配慮と緑化、住宅団地は既存の緑を残すとともに庭先の緑化を心がけるなど、周辺環境と調和した環境整備に取り組む。

景観形成方針 3

田園風景越しに見る赤城山の山並み、北関東自動車道、横手大橋、昭和大橋からの山並みの眺めを守る。

景観形成方針 4

(主)高崎駒形線、(主)前橋玉村線、(主)前橋長瀬バイパスなどの道路の沿道や前橋南 IC 周辺は、田園風景の広がりを阻害しないよう、建物や広告看板類の誘導に取り組む。

景観形成方針 5

諏訪神社参道、古墳、神社、七観音、道祖神、環濠屋敷など、地域色豊かな歴史的資産を大切に守り、歴史的価値の活用方策を立案する。また、川棚や油傳掘といった、水とともにある生活の営みを伝える水際のしつらえを受け継いでいく。

景観形成方針 6

下川淵小学校の大工ノキ、極楽寺の大ケヤキなどは、原風景であり、ランドマークとなる資源を大切に守る。

体制整備方針 1

地域の歴史、文化を伝承する地域住民活動に対する柔軟な支援体制を整える。